

第100号!

東都医療大学図書館通信(深谷キャンパス)

第100号への祝辞 学長 中條俊夫

図書館通信が第100号を迎えましたこと、誠にめでたうございます。東都医療大学が開学した2009年に、図書館運営委員会の初代委員長であった大橋優美子先生の発議で発刊が決まったと伺っております。現在は5代目の松澤委員長を中心とした全委員のご努力により、学生の皆様には是非読んでほしい良書や最新情報、そしてトピックスなどが毎号で紹介されています。10年にわたり発刊されてきました委員会の皆様のご努力に感謝致します。特に図書館開設以来、司書を続けてこられ、第1号からの発刊にご尽力くださっている長塚香織さんに深謝致します。


年末年始、読書をしませんか?

映画化された小説から医療系漫画までいろいろ取り揃えております。

2018年もあと残りわずかとなりました。皆さんにとって、2018年はどんな1年でしたでしょうか。何かと忙しい年末年始ですが、時間をつくってゆっくり読書をしてみませんか? 図書館には看護や栄養の専門書以外にもたくさんの「読み物」があります。図書館へ足を運んで、ぜひいろいろな本を手にとってみてください。


コーヒーが冷めないうちに
 (川口俊和著/サンマーク出版)

女優・有村架純さんの主演で映画化された小説です。過去には本屋大賞にもノミネートされています。この『コーヒーが冷めないうちに』は4つのストーリーで構成されていますが、いずれも物語の中心となるのは、喫茶店「フニクリフニクラ」。この喫茶店には

「過去に戻れる」という席が存在し、その噂を聞いた人が次々と訪れてきます。ただ、いつでも過去に戻れるわけではありません。その「過去に戻れる」という席には常に先客がおり、その先客が席を立った時だけ着席することができる、という不思議なルールが存在します。他にも「過去に戻っても現実是不変変わらない」などちょっと面倒なルールがいくつかありますが、それでも過去に戻りたいと願う人々の、過去に戻って展開される心温まる物語がこの作品に綴られています。小説を読んでから映画をご覧になるか、映画を鑑賞してから原作に触れるか、どちらでも楽しめる作品です。おすすめの数1冊ですので、ぜひ一読ください。


学び続ける力

(池上 彰著/講談社刊)

池上さんご自身の経験に基づき、学ぶことの楽しさや読書の大切さについてわかりやすく解いてくれている本です。本書を読むと、「よりよく生きるためには学ぶ楽しさを知ることが必要」であることを実感します。学びたいと思いつつも、なかなか時間を見

出せずにいる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな方たちの背中をそっと押してくれる、池上版「教養のすすめ」と言えるでしょう。池上さんならではの優しい口調で書かれており、たいへん読みやすい1冊です。


本を読む本

(モティマー、J・ブロード著/講談社刊)

タイトル通り、本を読む人のために書かれた本です。読書技術について著述されているバイブル的存在で、1940年に米国で刊行されて以来、世界中で読みつがれています。インターネットが主流になった現在(いま)の時代こそ、読書について学んでみてはいかがでしょうか。


向田邦子：おしゃれの流儀

(向田和子ほか編/新潮社刊)

名脚本家として知られる向田邦子さんですが、実はおしゃれ上手としても有名です。着こなしの基本に黒やグレー、白などのベーシックカラーをおき、スカートなどで洗練されたファッションを楽しんでいた様子が本書から伺えます。向田さんは、どんなにいいものでも自分に似合わないものは決して身につけなかったそうですが、反対に、自分が好きな服は色違いで揃えたこともあるそうです。掲載されている向田さんの写真の数々はどれも凛としていて格好良く、彼女のセンスの良さにみなさんも惹きつけられることでしょう。洗練された向田流「おしゃれの流儀」を、あなたも真似してみませんか。皆さんの着こなしがブラッシュアップされること間違いなしです。


透明なゆりかご (沖田×華著/講談社刊)

産婦人科医院で見習い看護師として働く高校生を主人公とした医療系漫画です。作者の実体験に基づくストーリーで、NHKでドラマ化もされました。出産という幸せな場所の裏には消えゆく命がある、という現実を知った主人公が、様々なことを感じ、経験してゆく物語です。



視野を深く、広く-- 読書の効用

管理栄養学部 教職課程 教授 川合春路

学生の皆さんは、各学部学科に関連した沢山の科目の勉強をしなくてはならず、忙しい毎日を過ごしていらっしゃると思います。そんな皆さんに、専門科目以外の本も読もう、とお勧めするのはどうかとも思われるのかもしれませんが、しかし、やはり私はそうお勧めしたく思います。皆さんが獲得を目指す専門的な力量は、深く広く生き生きとした視野の上に成立することによってはじめて、その本来の力を発揮し、自他のために真に役立つものになり、それゆえの喜びを得られるものになる、と私は思います。

(左) 別冊日経サイエンス『食の未来：地中海食からケノム編集まで』
(日経サイエンス編集部・編/日本経済新聞出版社・刊)
(右) 『小さな地球の大きな世界』(武内和彦ほか・監修/丸善出版・刊)

そして、視野の深まりと広がり、私たちが、この世界をきわめてリアルに生きることによって獲得可能なものになっていくのだと思います。つまりは、今日の世界危機とも言うべき状況に関して、はっきりとした問題意識を持つことが肝要であると思うのです。以下にその世界危機の諸相を列挙してみたく思います。①核廃絶は可能か ②環境問題は解決できるのか ③エネルギー問題は解決できるのか ④食糧問題は解決できるのか ⑤水問題は解決できるのか ⑥人口問題は解決できるのか ⑦人権侵害問題は解決できるのか ⑧南北問題等、貧富の格差は是正できるのか ⑨宗教の対立関係を克服できるのか ⑩民族はついに相いれないのか 一一等々、私たちの生きる世界は、極めて深刻な問題に曝されていると言わなくてはなりません。こうした深刻な問題の解決に向けて、私たちに必要不可欠なことは、①弱肉強食主義的な発想を超えること ②国家主義的な発想を超えること ③自己中心主義を超えること ④人類全体の視点に立つこと等々であるでしょう。

そうしたことを可能にしていくためには、深い人間理解と社会への洞察をもって、仲間としての協力の思いを持ちつつ、生な現実と対決するという生き方が必要とされます。そして、たとえば、環境問題は自分自身の問題であるという自覚が必要でしょう。

私たちは、読書によって、上に記した様々な問題の存在に目を開かれ、それらの問題との抜本的な対決を深く激しく生き抜いた人々に出会うことができ、そこから多くを学ぶことができます。そこには人間であることの悲しさと素晴らしさが存在します。皆さんが人間的に魅力に満ちた迫力のある存在へと自己形成をなさっていくにあたって、読書は、かけがえのない力を発揮してくれます。静かに、じっくりと、かみしめるようにして読んでください。それは、皆さんの人生を、深く、力強く、豊かなものにしていくでしょう。

フェルメール展



ヨハネス・フェルメール『ウィングラス』1661-1662年頃
ベルリン国立美術館 © Staatliche Museen zu Berlin, Gemaldegalerie / Jörg P. Anders

オランダ黄金時代を代表する画家—ヨハネス・フェルメール(1632-1675)。21歳から画家として活動し、手紙を書く女性や室内で歓談する男女など、主に人々の日常を題材とした作品を多く描いています。繊細な筆遣いと優しく穏やかな光の表現は、「光の魔術師」と称されるほどに、神秘的で美しい作品を生み出しました。世界的に人気を誇るフェルメールですが、実はこの人気ぶりは近年になってからのことです。現存する作品はわずか35点とも言われていますが、今展では日本美術展史上最多となる9点が公開されています。なかでも「ウィングラス」(左に掲載)、「赤い帽子の娘」、「取り持ち女」の3点は日本初公開です。見どころはなんとと言っても「フェルメール・ルーム」。フェルメールの作品がひとつの部屋に展示されるという、本人でさえ目にしたことがないであろう奇跡の光景を、上野の森美術館で展開しています。美術展では珍しく「日時指定入場制」を採用し、来場者全員に音声ガイドを無料で提供するなど、フェルメールとじっくり向き合える空間を整えています。このラグジュアリーなフェルメールの世界に、あなたも足を運んでみませんか？

急に寒くなったニャン

カメラを構えたら寄ってきてくれました。



図書館運営委員会より

東都医療大学図書館通信(深谷キャンパス)は、2009年6月の創刊以来、おかげさまで第100号を迎えることができました。これもひとえにご愛読くださる皆様の暖かいご支援のおかげと心より感謝致しております。これからもより充実した内容をお届けできますよう、努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会場：上野の森美術館(〒110-0007 東京都台東区上野公園1-2) ※日時指定入場制 会期：2018年10月5日(金)~2019年2月3日(日)
※会期中、一部作品の展示替えがございます。「赤い帽子の娘」10/5(金)~12/20(木)、「取り持ち女」1/9(水)~2/3(日) 開館時間：9:30~20:30 ※1月1日(火・祝)~2月3日(日)は9:00~20:30(入場は閉館の30分前まで)。 観覧料金：当日日時指定券 一般2,700円/大学・高校生2,000円/中学・小学生1,200円 ※未就学児は無料。※学生の方は入場時、学生証をご提示いただく場合があります。※障がい者手帳をお持ちの方とお付き添いの方1名まで各観覧料の半額でご購入いただけます。ご来場時、障がい者手帳をご持参ください。 公式サイト：www.vermeer.jp/ お問合せ：0570-008-035 (インフォメーションダイヤル 9:00~20:00)